

# 米国高等教育における 学習成果の診断の実際 —米国での IR 実務経験から—

2013年 **4月5日** [金] 13:30～17:00

東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟 4階 M401

各大学における内部質保証システムの構築が必要を増すなか、インスティテューショナル・リサーチ（IR、機関におけるデータ収集・分析）の役割に対する期待が高まっています。特に、大学教育における教育から学習への転換を背景に、世界的に学習成果の検証や測定が求められるようになり、我が国においては「大学ポートレート（仮称）」が近く動き始めるなか、機関レベルでの IR の実質的運用とそれを担う人材の育成が不可欠になりつつあります。そこで、本セミナーでは、IR 先進国のアメリカで実務経験を重ねられている本田寛輔氏をお招きし、アメリカの経験をどう学び、日本に活かしていくべきなのかを考えます。大学評価の現場で評価書の作成を担当されている教職員、IR の導入を構想されている大学関係者、質保証に関心をお持ちの方々など、広くご参加ください。

講師：本田寛輔（メイン大学オーガスタ校）

**第1部** セミナー <公開> 13:30-15:00

「米国高等教育における学習成果の診断の実際—米国での IR 実務経験から—」

**第2部** ワークショップ <事前申込制，定員：20名（先着順）> 15:15-17:00

「自己点検：報告書から改善へ向けて」

本ワークショップは、原則として、これまで自己点検評価書（全学・部局いずれも OK）の作成に関わられた経験のある方を対象に行います。各参加者は、自校の自己点検評価報告書を持ち寄り、そこで書いた内容（又は基準）のどこが実現でき、どこが実現できていないのかを事前に確認してお越してください。ワークショップではそれらの成功例の鍵は何だったのか、そして課題例にはどのような情報分析と学内の議論が必要なのかについて参加者が意見を出し合い、講師が議論を舵取りします。

**参加申込み方法** Webから申込みいただけます。 ※行事カレンダーからお進み下さい。

<http://www.he.tohoku.ac.jp/>

※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先（e-mail）を明記の上、pffp\_office@he.tohoku.ac.jpまでお申込みください。

お問い合わせ

東北大学高等教育開発推進センター  
大学教育支援センター

TEL.022-795-4471 Email.pffp\_office@he.tohoku.ac.jp



主催 東北大学高等教育開発推進センター

Center for the Advancement of Higher Education  
TOHOKU UNIVERSITY